

# 平成30年度 小規模多機能ホームもちもちの木 事業報告書

## 1、施設の概要

事業の種類	介護保険法に基づく指定小規模多機能型居宅介護
対 象	介護保険法に基づく指定介護予防小規模多機能型居宅介護 要介護認定で要介護・要支援と認定された方 福崎町在住の方
営業日	年内無休
営業時間	通いサービス 9:00～16:30 宿泊サービス 16:30～9:00 訪問サービス 随時 短期利用 随時
定 員	登録29名（通い 18名 ・ 泊り 9名）

## 2、職員配置数

平成30年3月現在

職 種	基 準 数	現 員	備 考
管理者	1	1	兼務
介護支援専門員	1	1	兼務
看護職員	1	2	専従
介護職員	基準に準ずる	9	専従

単位/人

## 3、1日の流れ

	泊り利用者	通い利用者
6:30	起床、着替え、洗面	/
7:30	朝食	
8:00	口腔ケア	
8:30	健康チェック	通い利用者迎え、到着
9:00	健康チェック	
9:30	朝礼、ラジオ体操	
10:30	入浴、学習療法、手作業	
11:30	歩行練習、嚥下体操	
12:00	昼食	
12:50	口腔ケア	
13:00	くつろぎの時間	
14:00	集団レクリエーション	
15:00	おやつ、機能訓練	
16:30	歌体操	通い利用者送り
17:30	夕食	/
18:00	口腔ケア	
19:00	テレビ鑑賞	
20:00	就寝	

## 4、運営推進会議

	第1回(7/20)	第2回(11/22)	第3回(3/22)
西治区長	1	0	1
西治民生委員	2	1	2
健康福祉課	0	1	1
地域包括支援センター	0	0	0
利用者	0	0	0
利用者家族	4	3	1
職員	3	3	3

単位/人

5、第三者評価受審

- ①受審日 平成31年(2019年)2月14日  
 ②評価機構 特定非営利活動法人はりま総合福祉評価センター  
 ③評価情報 福崎町ホームページ

6、行事

・外出・外食

外出名

4月	加西フラワーセンター外出(加西市)
	芝桜見学(夢前町ヤマサ蒲鉾)
5月	ホテル観賞(香寺町)
6月	あじさい見学(福崎町板坂)
7月	もちむぎの館外食(福崎町)
8月	夢庵喫茶外出(福崎町)
10月	ネバーランド秋祭り
3月	ごぼう先生体操(ネバーランドバリエーションホール)
	花見外出(福崎町)

・施設内行事

行事名

4月	昼食時: 明石焼き作り
5月	おやつ: どら焼き作り
6月	おやつ: 饅頭作り
7月	おやつ: 水饅頭作り
9月	おやつ: たこ焼き作り
12月	クリスマス会 (花さきデイと合同)
	昼食時: 鍋料理
1月	正月遊び
	おやつ: ホットケーキ作り
2月	おやつ: バレンタインおやつ作り
3月	おやつ: バナナのおやつ作り

・地域交流

行事名

地域名

6月	小学校との交流会	福崎小学校2年生
8月	盆踊り大会	西治地区
9月	中学校体育大会	福崎西中学校
	小学校運動会	福崎小学校
10月	秋季祭り見学	西治地区、西谷地区、高橋地区
	小学校との交流会	福崎小学校2年生

・ボランティア受け入れ

ボランティア名

内容

夢華美	踊り、歌
ゆたか会	楽器演奏、歌
どんぐりバンド	楽器演奏、歌

・その他

行事名

頻度

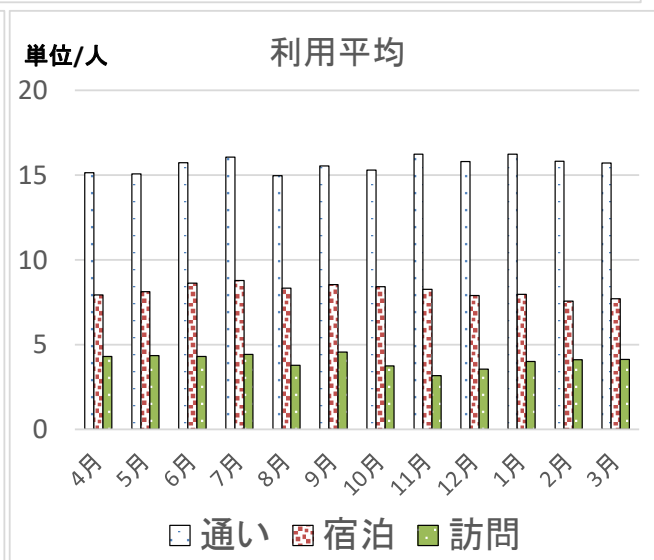
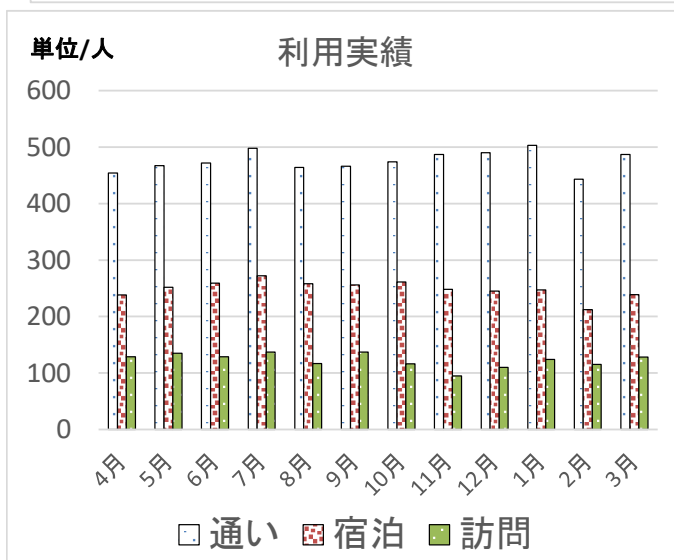
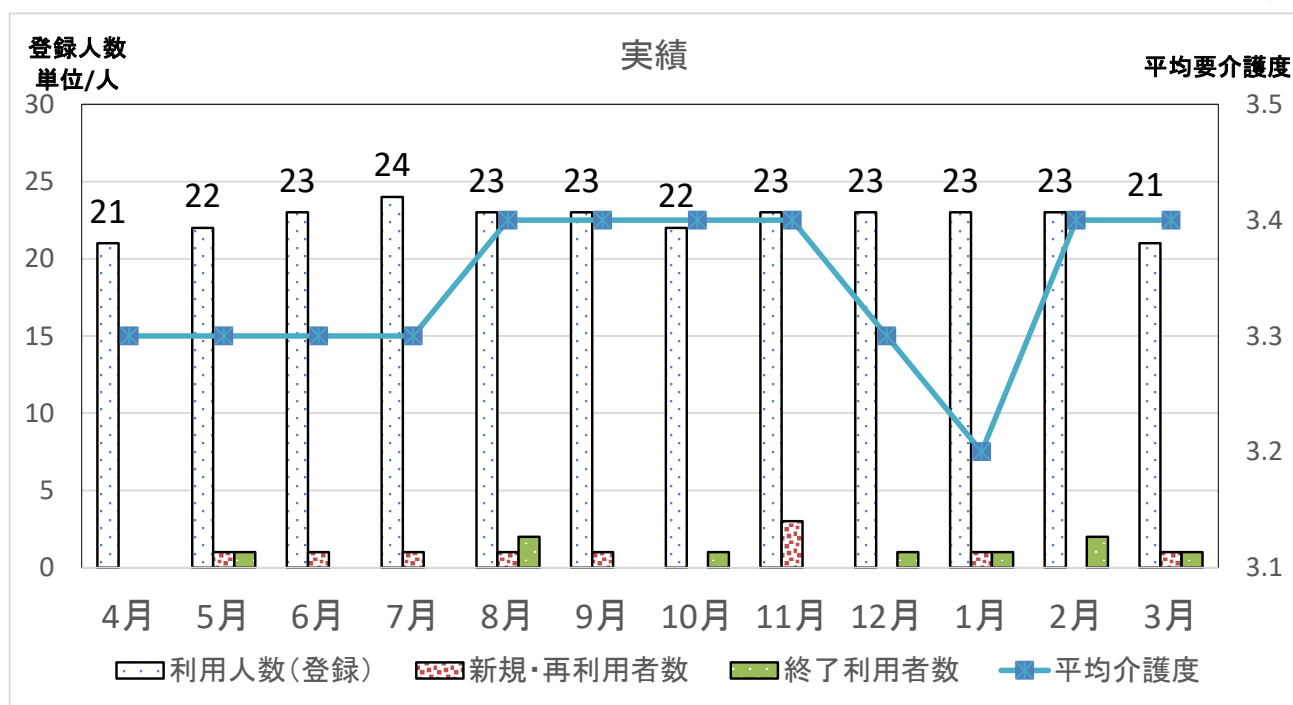
避難訓練	年2回
救急講習	適宜
実習生受け入れ	適宜
トライやる学生受け入れ	6月頃に1週間/年1回
フィットライフユウ	適宜

7、利用状況

平成31年3月31日 現在

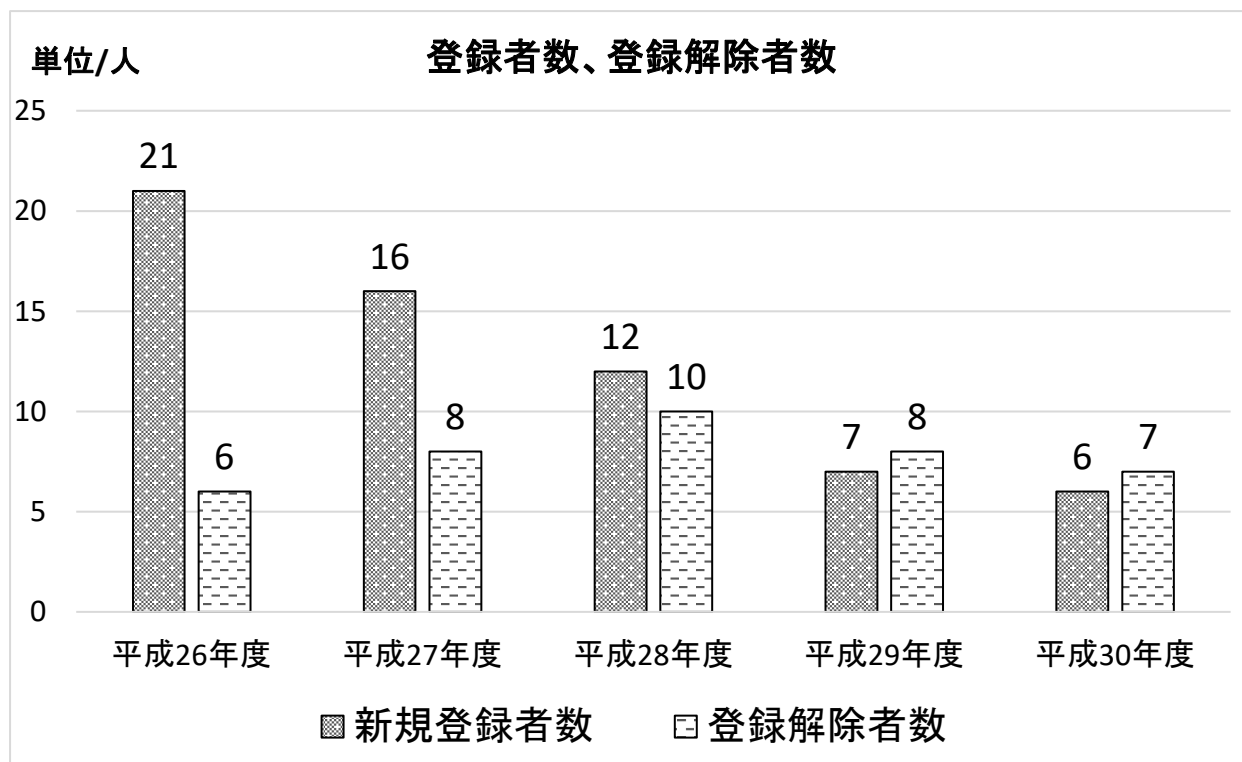
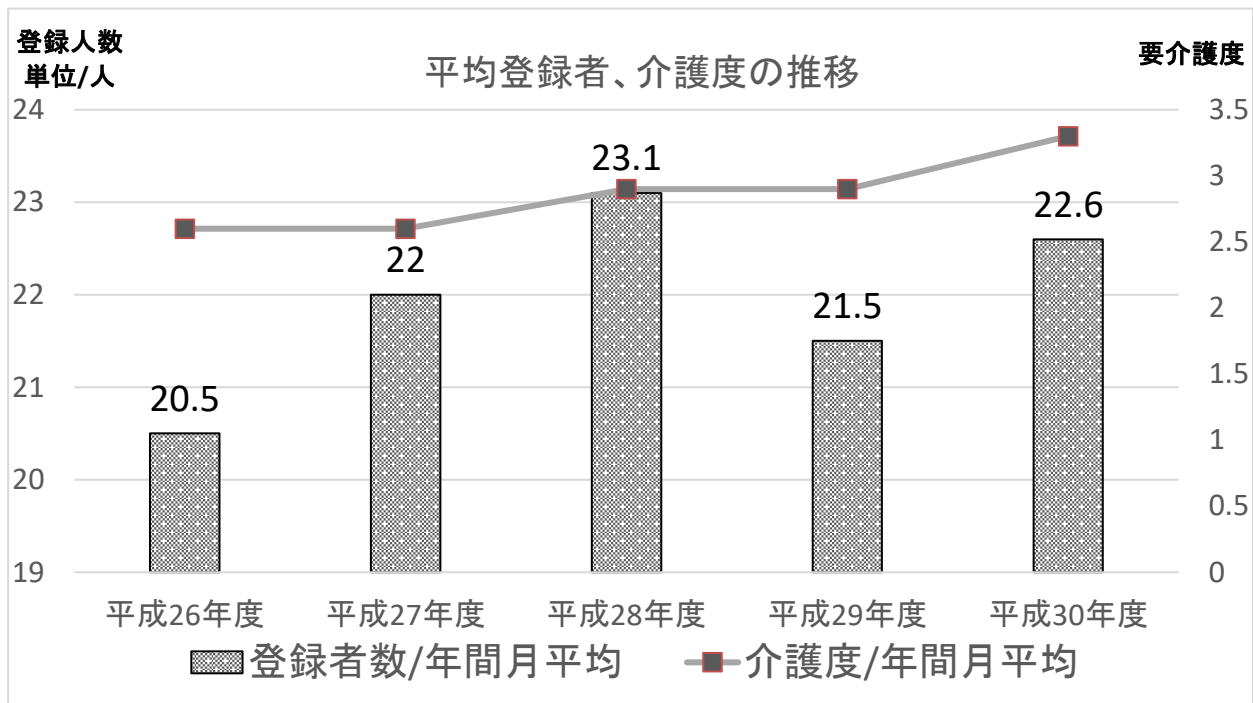
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
利用人数(登録)	21	22	23	24	23	23	22	23	23	23	23	21	22.58
通い(実績)	454	467	472	498	464	466	474	487	490	503	443	487	475.4
通い1日平均	15.13	15.06	15.73	16.06	14.97	15.53	15.29	16.23	15.81	16.23	15.82	15.71	15.63
宿泊(実績)	238	252	259	272	258	256	261	248	245	247	212	239	248.9
宿泊1日平均	7.93	8.13	8.63	8.77	8.32	8.53	8.42	8.27	7.90	7.97	7.57	7.71	8.18
訪問(実績)	129	135	129	137	117	137	116	95	110	124	115	128	122.7
訪問1日平均	4.30	4.35	4.30	4.42	3.77	4.57	3.74	3.17	3.55	4.00	4.11	4.13	4.03
新規・再利用者数	0	1	1	1	1	1	0	3	0	1	0	1	0.833
終了利用者数	0	1	0	0	2	0	1	0	1	1	2	1	0.75
短期利用者	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	2	0.583
平均介護度	3.3	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.3	3.2	3.4	3.4	3.3

単位/人



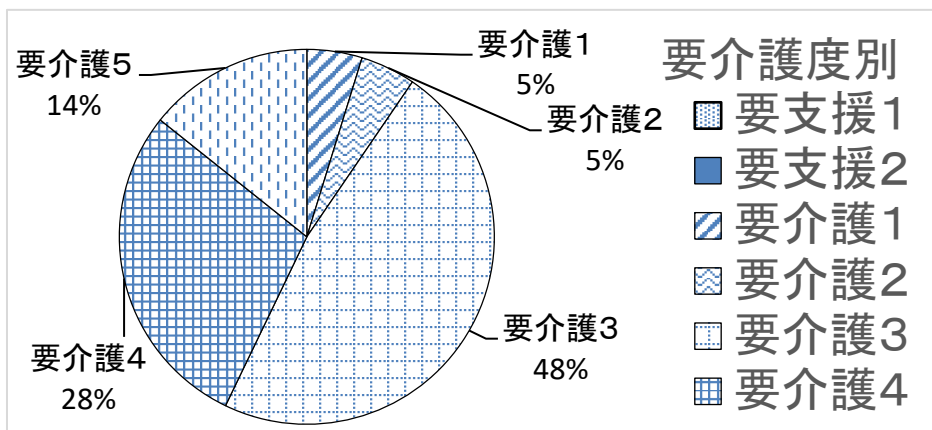
利用者登録、介護度の推移 平成26年度～平成30年度

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
登録者数/年間月平均	20.5	22	23.1	21.5	22.6
新規登録者数	21	16	12	7	6
登録解除者数	6	8	10	8	7
介護度/年間月平均	2.6	2.6	2.9	2.9	3.3



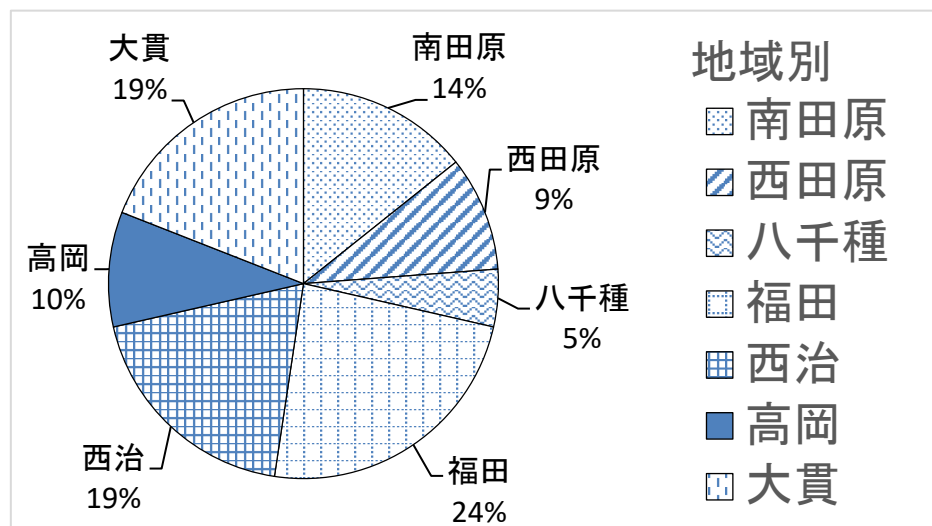
～要介護度別～

	人数
要支援1	0
要支援2	0
要介護1	1
要介護2	1
要介護3	10
要介護4	6
要介護5	3
平均介護度	21



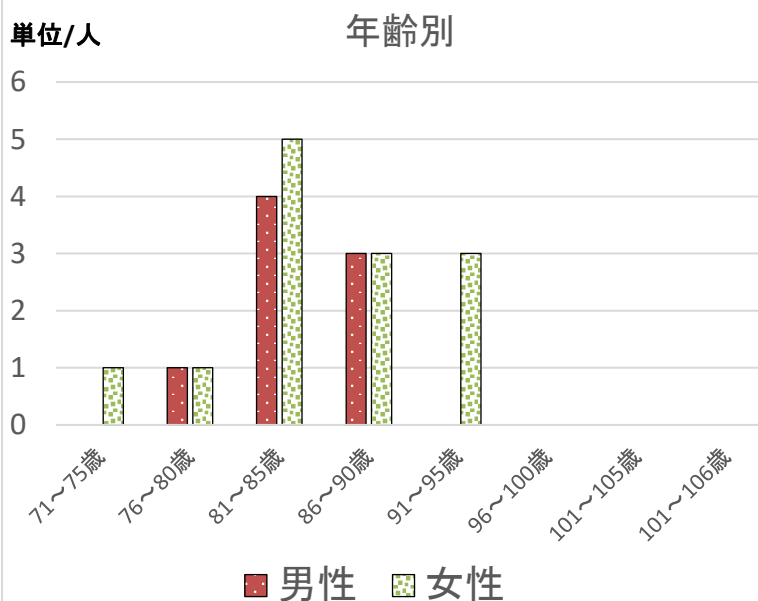
～地域別～

	人数
南田原	3
西田原	2
八千種	1
福田	5
西治	4
高岡	2
大貫	4
合計	21



～年齢別～

	男性	女性
71～75歳	0	1
76～80歳	1	1
81～85歳	4	5
86～90歳	3	3
91～95歳	0	3
96～100歳	0	0
101～105歳	0	0
101～106歳	0	0
計	8	13
平均年齢	84.67 歳	
	(男性 84.38歳、女性 84.85歳)	
最高年齢	92 歳	
最低年齢	75 歳	



8、目標達成率

登録数 目標数 : 24名 実績 : 22.6名 達成率 : 94%

介護度 目標 : 2.8 実績 : 3.3 達成率 : 119.3%

## 9、考察

### 考察1 実績に関して

昨年度より利用者数の上昇は見られたが、登録利用者の目標達成には至らなかった。平均介護度は目標値を上回る事は達成したが、比例して日中、宿泊の利用人数も増加している。背景には介護度の上昇に伴い、在宅での生活が困難な状況になっている事が考えられる。

利用者の中には肺炎による、入退院を繰り返されている方もおられる。

入院時には登録が一時解約となる為、毎食後の口腔ケアや手洗い等を徹底し、症状が見られた際には早期に家族へ受診の依頼を行うなど、予防と入院期間の短縮につなげていきたい。

また、今年度の12月頃より、利用者内でインフルエンザが流行し、施設利用が出来ず、在宅での生活が難しい為、入院されるケースも見られた。今後は症状が見られる方への早期の受診を家族へ依頼し、利用者、職員への感染予防の為の手洗い、うがいの励行を実施する。また、随時手すり等施設設備へのピューラックス消毒を行い、職員一同の体調管理を行っていく。

### 考察2 利用者獲得に向けて

平成30年度の新規の問い合わせでは年間平均して2ヶ月に1回程度の問い合わせがあったが、ロングショートステイの様に連続しての泊まり利用を希望される案件が多く見られた。しかし、現在登録されている利用者により日中の利用枠が圧迫状態となっており、新規利用につながらず、例年より新規獲得が減少してしまった。

今後こういった問い合わせがあった際には法人内の他サービスの紹介や、利用状況を調整し、問い合わせ先への空きが出来次第、電話連絡を行っていく。

営業活動については現在花さきデイサービスと合同で月に2回福崎町内を中心に行っている。

営業活動により、平成29年度に比べると福崎町内のケアマネジャーより問い合わせの件数が増加してきており、新規の契約につながったケースもある。また、現在花さきデイサービスを利用しているが、ゆくゆくはもちもちの木を利用したいといった、今後を見据えて花さきデイサービスを利用している方も複数名おられるので、継続して花さきデイサービスと協同で営業活動を行っていく。

### 考察3 利用者満足度に関して

平成30年度は介護予防の一環としてリハビリ機器等を使用して機能訓練に取り組んだ。利用者からも機能訓練を行いたいと言われる方が多く、通いで日中利用している方の中にはリハビリ機械を毎回使用されている方もおられる。

また、午後からレクリエーション前にコグニ体操を実施し、認知機能向上にも努めている。平成31年3月に行ったごぼう先生の体操にももちもちの木利用者も参加し、体操を楽しんでいた。

### 考察4 職員に関して

現在経験年数の浅い職員が多く在籍しているが、利用者は以前に比べると介護度が上昇し、集団生活が苦手な方や、認知機能の低下に伴い事故が予測されるような行為をされる利用者が増加している。安心安全な生活を過ごして頂く為にも、職員への育成を早急に行っていく必要がある為、勉強会や定期的な面談を行い、現在の問題点を伝え、個々に技術の向上、問題点の改善を図っていく。

また、経験年数の浅い職員に部署内での会議を任せたり、外部や利用者家族との連絡といった通常業務以外にも役割を持たせ、責任感や遂行能力を養う様、職員教育に努めている。